

始良市定例記者会見

日時：平成 28 年 6 月 10 日（金）

午後 1 時 30 分～

会場：始良市役所本館 2 階大会議室

1 開会

2 発表項目

- ・平成 28 年度一般会計補正予算について P 1～

3 情報提供

- ・始良市 PR 動画「AIRA CITY」 P 11
- ・加治木くも合戦大会について P 12

4 閉会



平成28年第2回始良市議会定例会に提案する一般会計補正予算（第1号）について

一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ3億7,353万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を294億5,553万3千円とするものです。
補正予算の主な事業は以下のとおりです。

(単位：千円)

No.	予算 説明書	新規 事業	中事業名称	補正内容	補正額	所属名称
1	12ページ		公共交通対策事業	地域公共交通網形成計画策定に係る事業費補助 ・事業費 8,673千円 ・国庫補助 4,400千円→交通会議へ直接交付 ・市負担 4,273千円 参考資料 2ページ	4,273	
2	12ページ		空き家対策事業	特定空家等調査等業務委託 (市内約1,100件の家屋を対象に調査) ・委員報酬等 131千円 ・業務委託料 11,040千円(うち国庫補助5,520千円) 参考資料 3ページ	11,171	企画部地域政策課
3	12ページ		電子計算システム管理事業	税システム改修委託料 2,484千円 (個人住民税の公的年金からの特別徴収する制度の一部 改正) 参考資料 5ページ	2,484	企画部情報政策課
4	13ページ		地域介護基盤整備事業	地域介護基盤整備事業費補助金 ・地域密着型特別養護老人ホーム施設整備分 4,270千円/床×29床×2施設=247,660千円 ・地域密着型特別養護老人ホーム開設準備経費分 621千円/床×29床×2施設=36,018千円 参考資料 6ページ	283,678	保健福祉部長寿・障害福祉課
5	14ページ		子ども医療費助成事業	11月診療分(1月支給分)から中学生まで医療費補助の制度 拡充に伴う ・システム改修委託料 2,387千円 ・子ども医療費扶助 5,520千円 参考資料 7ページ	7,907	保健福祉部子ども政策課
6	15ページ		観光地等維持管理事業	重富海岸にあるなぎさミュージアムへの入り口及びウッド デッキ整備のための保安林解除申請業務委託料	1,145	企画部商工観光課
7	16ページ		消防自動車等整備事業	緊急消防援助隊設備整備費補助金交付決定による ・水槽付消防ポンプ自動車 参考資料 8ページ	54,000	消防本部消防総務課
8	17ページ		学校教育課関係事務局経費	幼稚園就園奨励システム改修委託料 1,080千円 (私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱一部改正) 参考資料 9ページ	1,080	
9	17ページ		研究指定校事業	教育課程研究指定校事業の決定による (帖佐小学校、外国語活動) 普通旅費 55千円、消耗品費 115千円 印刷製本費 65千円 参考資料 10ページ	235	教育部学校教育課
10	18ページ	○	小惑星「airashi」命名記念事業	小惑星「airashi」命名式及び講演会(旅費及び講演謝金 等) 旅費 175千円、報償費 140千円、消耗品費 50千円 印刷製本費 35千円	400	教育部社会教育課
歳出計					373,533	

参 考 资 料

1 公共交通対策事業

地域公共交通網形成計画策定に係る事業費補助

目 的：

本年4月12日、始良市の需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現を目指すこと等を協議する「始良市地域公共交通会議」が設立しました。

本会議において、始良市にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにするマスタープランとして、「始良市地域公共交通網形成計画」を策定することとなり、これにより、限られた資源が有効に活用され、持続可能な地域公共交通網の形成が図られることが期待されます。

事業内容：

計画策定には、国の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」を活用し、全ての公共交通の現状把握や利用状況の調査、住民アンケート、事業者への聞き取り調査等を実施し、その調査結果を基に、本市の総合計画や都市計画マスタープランなどまちづくりとの整合性の取れた計画となるよう公共交通会で協議し、本市の目指すべき公共交通網のあり方として公表する。

事業費等：

「始良市地域公共交通網形成計画策定業務委託」（仮称）

事業予定額 8,673千円

財源内訳 国庫補助金 4,400千円（公共交通会議へ直接交付）

市からの補助 4,273千円

事業完了予定 平成29年3月（始良市地域公共交通網形成計画策定）

参 考：

始良市地域公共交通会議委員（30人）

会長（市長）、鹿児島陸運支局、鹿児島県交通政策課、始良警察署、鹿児島国道事務所、始良・伊佐地域振興局建設部、交通事業社、県バス協会、県タクシー協会、運転者が組織する団体、福祉有償運送実施NPO法人、市民・利用者代表、学識経験者、市関係職員など

始良市コミュニティバス等利用状況等（平成23年度～平成27年度）

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用者数	43,240人	42,939人	41,268人	40,982人	39,671人
補助金額等	28,671,833円	30,760,015円	30,685,616円	31,830,244円	32,416,652円

2 空き家対策事業

特定空家等調査等業務委託

目 的：

平成26年11月、国は増え続ける空き家等で、適切な管理が行われず防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれのあるものに対し、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空家等の活用のための対応を可能とした「空家等対策の推進に関する特別措置法」を制定し、昨年5月から施行となりました。

この法律に基づき、本市でも5月25日に空家等対策協議会を設置し、本市の空家等対策計画を策定するとともに、適正な管理が行われていない空き家の詳細な調査を行い、所有者等に対し適正な管理を行っていただくための指導・助言等を実施いたします。

事業内容：

空き家の詳細な調査や所有者等の確定、さらに、それらの情報をデータベース化する作業を業務委託とし、今後の本市の空き家等対策に活かしていくための基礎資料となるものです。

調査対象家屋は、平成24年度に本市が実施した空き家対策調査で、「修繕に莫大な費用がかかる」「使えないと」判定されたものや「調査不能」であったもの、また、その後、住民から情報提供等があったものなど約1,100件を対象に、敷地内への立入調査や税情報等に基づく所有者等の確定を行います。

なお、調査事業には、国の「社会資本整備総合交付金」を活用することとしています。

事業費等：

「始良市特定空家等調査等業務委託」（仮称）

事業予定額 11,040千円

財源内訳 国庫補助金 5,520千円（社会資本整備総合交付金）

一般財源 5,520千円

※その他 空家等対策協議会委員報酬等 131千円

事業完了予定 平成29年3月

参 考：

始良市空家等対策協議会委員（15人）

会長（市長）、住民の代表、市議会議員の代表、法務、不動産、建築、福祉、文化等に関する学識経験者、始良警察署、始良市消防本部など

平成24年度「始良市空き家等対策調査報告書」(空き家の活用を目的に調査)

地区名	Sランク	Aランク	Bランク	Cランク	調査不能	合計
始良	22	398	319	140	16	895
加治木	14	190	190	92	12	498
蒲生	1	74	196	95	19	385
合計	37	662	705	327	47	1,778

Sランク…すぐにも使える

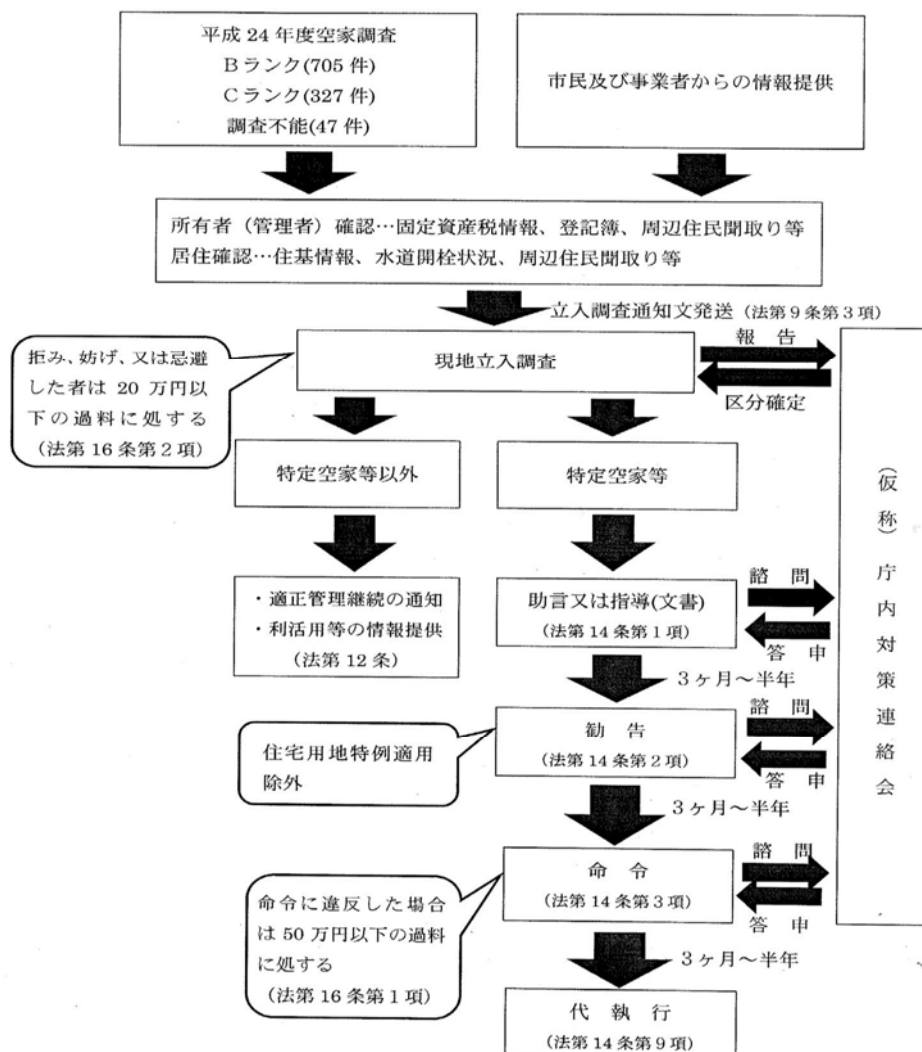
Aランク…修繕は必要だが使える

Bランク…修繕に莫大な費用がかかる

Cランク…使えない

調査不能…雑草等の繁茂等により目視確認が行えなかった

特定空家等への対応フロー



※「法」…空家等対策の推進に関する特別措置法

個人住民税の公的年金からの特別徴収制度の見直し

- 年金所得者の納税の便宜や市町村における徴収事務の効率化の観点から、次の見直しを行う。
 - ・ 年間の徴収税額の平準化を図るため、仮徴収税額を前年度の特別徴収税額(年税額)の2分の1に相当する額とする。
 - ・ 年金保険者に対して特別徴収税額を通知した後に特別徴収税額が変更された場合や賦課期日後に当該市町村の区域外に転出した場合においても、一定の要件の下、特別徴収を継続することとする。
- ※ この改正は、平成28年10月以後に実施する特別徴収について適用
- ※ 公的年金からの特別徴収(源泉徴収)制度： 所得税、個人住民税、介護保険料、国民健康保険料(税)、後期高齢者医療保険料
- ※ 個人住民税の公的年金からの特別徴収制度は、平成21年10月の年金支給時から導入

《特別徴収税額の算定方法の見直し》

現 行	$\text{仮徴収額} = \text{前年度分の本徴収額} \div 3$ (4・6・8月)	$\text{仮徴収額} = (\text{前年度分の年税額} \times 1/2) \div 3$ (4・6・8月)
	$\text{本徴収額} = (\text{年税額} - \text{仮徴収額}) \div 3$ (10・12・2月)	$\text{本徴収額} = (\text{年税額} - \text{仮徴収額}) \div 3$ (10・12・2月)

(例) 65歳以上の夫婦世帯 (夫の個人住民税額=60,000円(所得割額:56,000円、均等割:4,000円)、妻は非課税)

年度	年税額	【現行】		【改正案】	
		仮徴収額 (4・6・8月)	本徴収額 (10・12・2月)	仮徴収額 (4・6・8月)	本徴収額 (10・12・2月)
N	60,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
N+1	36,000円 (医療費控除の増等)	10,000円	2,000円	10,000円	2,000円
N+2	60,000円	2,000円	18,000円	6,000円	14,000円
N+3	60,000円	18,000円	2,000円	10,000円	10,000円

【現行】一度生じた不均衡が平準化しない

【改正案】年税額が2年連続で同額の場合、平準化

4 地域介護基盤整備事業

社会福祉施設費2億8,367万8千円の追加は、地域介護基盤整備事業補助金として、10/10の県補助による地域密着型特別養護老人ホーム2施設を始良中央圏域及びその近辺に整備するものです。

1 整備の趣旨

始良市では第6期介護保険事業計画に基づいて、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護施設などの整備数及び整備時期を定め、計画的な基盤整備を進めています。

■第6期中の年度別施設整備計画■

区 分	H27 年度開所	H28 年度開所	H29 年度開所
地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	—	—	始良中央圏域近辺 (定員 29 人×2 箇所)
地域密着型認知症対応型共同 生活介護 (グループホーム)	—	始良西圏域近辺 (定員 18 人)	—
地域密着型小規模多機能型 居宅介護	—	始良西圏域近辺 (定員 25 人)	—

地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）については、待機者（申込者数）のうち、第6期中に待機を解消する必要がある人数を約60人と見込み、平成29年度を目標に58床（29床×2箇所）を新設する計画とします。設置圏域としては、高齢者人口、介護認定者数などを考慮して、始良中央圏域近辺に配置する計画とします。

2 整備の内容

平成28年度において整備する介護施設の種類は以下のとおりです。

施設の種類	対象圏域	事業開始時期	施設数	定員等
地域密着型特別養護老人ホーム	始良中央圏域 及びその近辺	平成29年4月	2施設	定員29人

【始良市圏域】

始良中央圏域（構成小学校区：建昌小学校区、松原なぎさ小学校区、始良小学校区）及びその近辺

5 子ども医療費助成事業

1. 子ども医療費助成の一部改正

- (1) 子ども医療費助成を中学生まで拡充する。
- (2) 中学生は、市町村民税課税世帯と市町村民税非課税世帯の区分を設定する。
- ①市町村民税課税世帯：1か月（月の初日から末日）の保険給付の自己負担金の総額から2,000円を控除する。
- ②市町村民税非課税世帯：1か月（月の初日から末日）の保険給付の自己負担金の総額の全額を支給する。
- (3) 新制度は、平成28年11月1日以後の診療分から実施する。

2. 一部改正に伴うイメージ図

【現行】		【平成28年11月1日診療分から】		
就学前	小学生	就学前	小学生	中学生
全額助成	全額助成	全額助成	全額助成	非課税世帯 全額助成
				課税世帯 一部助成 2,000円

3. 市町村民税課税世帯における2,000円の控除額の設定について

(1) 平成27年度子ども医療費助成総額及び平均額（H28.5.1現在）

	助成数（件）	助成額（円）	平均額（円）
就学前	85,502	124,453,796	1,456
小学生	46,457	78,145,207	1,682
計	131,959	202,599,003	1,535

(2) 子ども医療費助成にかかる財源内訳（H28.5.1現在）

現行 (H27年度 実績)	子ども医療費助成にかかる総額 202,599 千円（%）	
	補助金 26,000 (12.8)	一般財源 176,599 (87.2)

改正後 (H29年度 見込)	子ども医療費助成にかかる総額 253,610 千円（%）	
	補助金 26,000 (10.3)	自己負担金 13,000 (5.1) 一般財源 214,610 (84.6)

* 事務手数料は含まず。

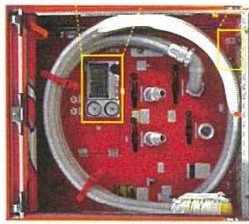
4. 新制度の実施に伴うスケジュールについて

システム改修、住民や関係機関への周知、対象者への受給者資格証の発行等に一定期間を要するために11月1日以後の診療分から適用する。

車両特徴

●機能性を追及した配置で操作性UP

シャッター内限られたスペースに、各種装置を機能的に配置しております。※車外取付ボックス取付者はオプション付



▲主制御ポンプ盤



ポンプ操作盤 e-MONITOR

排水から放水まで、「e-MONITOR」上で全ての操作が可能です。
※CAFS搭載の場合は、CAFS操作も含む。



▲燃料ポンプ盤

給油口がポンプ室下方にあるので、緊急時に燃料携行缶で給油する際も安全です。重心が下がることと車体の安定性も向上します。

●斬新な形状の赤色減灯

アオリ後部の半円型スペースに埋め込まれた赤色減灯は夜間でも視認性を高め安全を守ります。



▲減灯時



●LED照明灯採用で“エコロジー”

各種照明にLEDを採用、消費電力を抑え、バッテリーへの負荷を低減しております。また、ボックス内にもLED照明灯を標準装備し、夜間作業時、快適に作業ができます。(当社従来比 照明灯1個あたり消費電力を約70%削減)



●e-モニタをはじめ、水圧計やスイッチ等、ポンプ室の各種装置が照らされて、夜間でもはっきり視認できます。



▲LED照明灯(型式：MYSB-LB-W)で、快適な夜間作業を実現します。

●どこを握っても開閉が可能

MCD製 バー式シャッター

バーのどこを握っても開閉が可能であり、迅速な作業が求められる火災現場でスムーズな操作が可能です。また、開閉ボタンの凍結による、開閉不能の心配もありません。シャッターレール部にはLED灯が組み込まれており、夜間にはシャッターボックス内を明るく照射します。



▲シャッターレール部内蔵LED灯

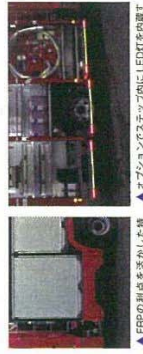


▲シャッター色 赤

バーの上部はラットが強化型になっており、シャッターの剛性向上、シャッターを押し下げる際の閉作業を容易にします。

●フルフラットステップで安全性向上

展開ステップは横一線の「フルフラットステップ」です。スムーズな横移動で、安全に資機材を取り出せます。また、ステップは軽量のFRP製のため、開閉も容易です。



▲FRPの利点を活かした特別に、夜間や雨・降雪時でも安全に作業可能なデザインです。

▲ステップでステップ内にLED灯を内蔵すれば、夜間や雨・降雪時でも安全に作業が可能となります。

8 学校教育課関係事務局経費

私立幼稚園就園奨励事業費に係るシステム改修補助に関する概要

幼児教育無償化に向けた段階的な取組（保護者負担軽減）を実施することに伴い、地方公共団体が行う幼稚園就園奨励事業の実施のための既存の幼稚園就園奨励事業管理システムの改修に要する経費の一部を国が補助する。

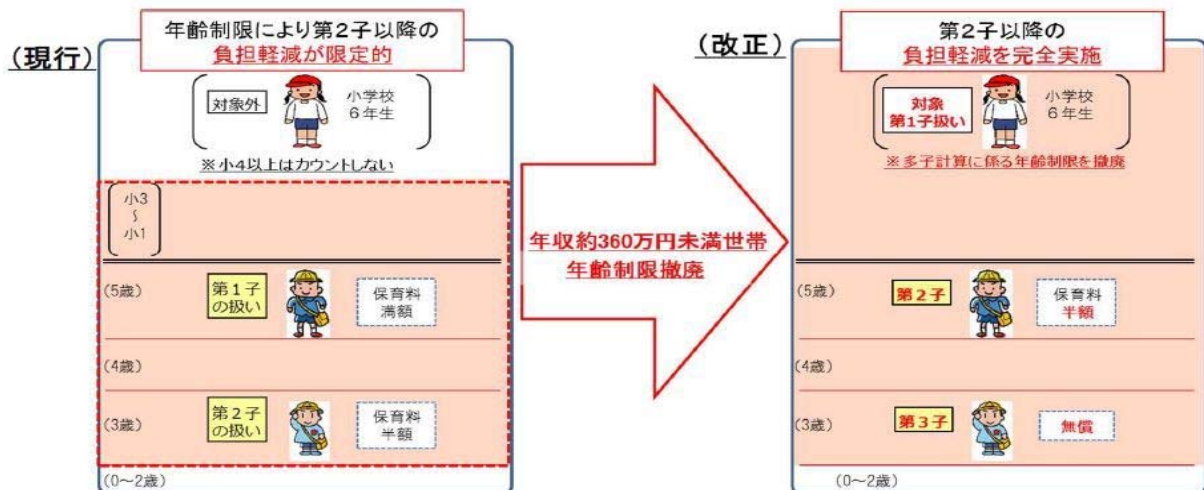
【実施主体】市 【補助率】 1/2（国：1/2 市：1/2）

28年度の幼児教育無償化に向けた改正内容

1. 多子世帯の保護者負担の軽減について

○年収約360万円未満世帯について、多子計算に係る年齢制限を撤廃し、第2子半額、第3子以降無償化を完全実施。

市町村民税所得割課税額77,100円以下（年収約360万円未満相当）の世帯について、現行では小学校3年生までとされている多子計算に係る年齢制限を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料の無償化を完全実施。



※第1子、第2子といった多子計算については小学生3年生を上限とし、小学生4年生以上はその計算の対象外。兄弟が小学校4年生以上に進級すると第2子扱いが第1子扱いとなるなど負担軽減が限定的。

2. ひとり親世帯等の保護者負担の軽減

○年収約360万円未満世帯のひとり親世帯等について、

- ・非課税世帯（第Ⅱ階層）を無償。
- ・年収約270～360万未満世帯（第Ⅲ階層）の第1子を半額、第2子以降を無償。

市町村民税所得割課税額77,100円以下（年収約360万円未満相当）の世帯のひとり親世帯等、在宅障害児（者）のいる世帯、その他の世帯（生活保護法に定める要保護者等特に困窮していると市町村の長が認めた世帯）の子供について、保護者負担額の軽減措置を実施。

階層区分		現行		ひとり親世帯等	
		補助単価	保護者負担額(月額)	補助単価	保護者負担額(月額)
第Ⅱ階層 市町村民税非課税世帯、 市町村民税所得割非課税世帯 (年収約270万円未満相当)	第1子	272,000円	3,000円	→ 308,000円	0円(無償化)
	第2子	290,000円	1,500円	→ 308,000円	0円(無償化)
第Ⅱ階層のひとり親世帯等の保護者負担額を0円(無償)に引き下げ。					
第Ⅲ階層 市町村民税所得割課税世帯 77,100円以下 (年収約360万円未満相当)	第1子	115,200円	16,100円	→ 217,000円	7,550円
	第2子	211,000円	8,050円	→ 308,000円	0円(無償化)
第Ⅲ階層のひとり親世帯等の保護者負担額を第1子は7,550円(月額)に、第2子は0円(無償)に引き下げ。					

9 研究指定校事業

1 研究指定校の概要

学 校 名	始良市立帖佐小学校							
(H28.4.1現在)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	(H28.4.1現在。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む) 教員数 24名
学 級 数	3	2	2	2	2	2	13	
児 童 数	86	60	79	57	80	53	415	
特記事項	特別支援学級3学級							

2 研究主題等

教科等名	外国語活動
学校における研究主題	相手意識を持ち、豊かにコミュニケーションを図ろうとする子供の育成

3 平成28年度の研究計画

(1) 本年度の研究の重点等

<ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジカードの評価項目の検証及び効果的な活用方法等に関する研究 ○ 技能と意欲の関連に関する研究 ○ 子供の課題意識を高める導入の在り方に関する研究及び導入資料の作成 ○ 低・中学年の英語活動の充実（1年：4時間 2年：8時間 3年・4年：20時間） ○ コミュニケーションの質的向上を図る相互評価に関する研究 ○ 指導力向上を図るための研究授業を中心に据えた校内研修の実施 ○ PDCAサイクルを生かした日々の授業実践 ○ 公開研究会の実施（平成28年11月15日）による研究の波及 ○ 研究のまとめ

(2) 研究計画

実施時期	研究内容、研究方法、成果の公開等	期待される成果等
1学期 (4～8月)	全体計画と年間計画を確認及び校内研究推進体制の確立 研究計画及び研究構想の確認と共通理解 教育課程研究指定校計画書の作成・提出 児童等の実態調査及び分析 国立教育政策研究所担当者訪問 指導計画等の検証 研究授業・授業研究会（外部講師招聘）	研究2年目として、人事異動等を経て研究体制を確立し、1年次の成果と課題を共有化して、ベクトルを揃えて研究を進めることができる。
2学期 (9～12月)	指導計画等の検証 研究紀要の作成 公開研究会用の学習指導案検討・作成 成果物（指導案集・活動集等）の作成 公開研究会の開催（11月15日） 児童等の実態調査及び分析	公開研究会で基調提案や授業公開を行うことにより、これまでの成果や課題を共有化したり、さらに研究を深めたりすることができる。
3学期 (1～3月)	指導計画等の検証 児童等の実態調査及び分析 教育課程研究指定校成果発表会での発表 教育課程研究指定校成果報告書の作成 1年間の研究のまとめ 研究成果のホームページへの掲載	成果報告書を作成し、県・市小学校外国語活動研究会等に周知することにより、成果等を共有化できる。

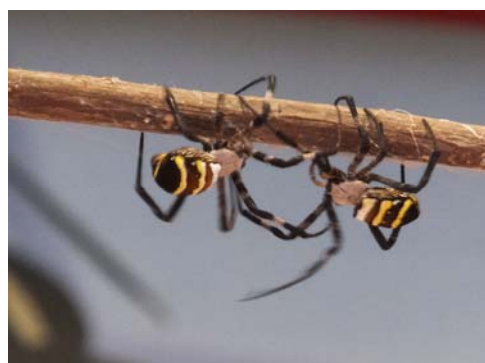
情 報 提 供

始良市事業説明

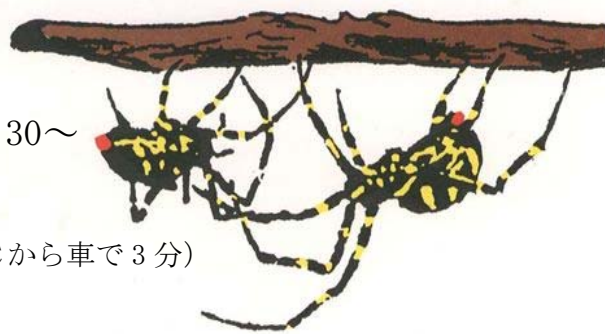
<p>発表事項</p>	<p>始良市PR動画「AIRA CITY」</p>
<p>事業概要</p>	<p>本市は、昨年、市制施行5周年を迎えました。“あいらびゅー”という言葉が市民に定着しつつありますが、今後もみんなに愛されるまち、そして、あいらをもっとたくさんの方に知ってもらいたいという思いから、「あいらしいまち」を全国にアピールするPR動画「AIRA CITY」を制作しました。</p> <p>完成日：平成28年3月31日 制作費：1,188,000円 請負者：南九州ケーブルテレビネット株式会社</p>
<p>発表内容</p>	<p>PR動画「AIRA CITY」は、主人公の女性が、いつもとは少し違う休日を過ごしてみたいという思いから、本市の主要観光スポットを巡り「ちょっと贅沢な1日」を過ごせたというコンセプトでストーリーを構成しています。</p> <p>観光スポットや伝統文化などが盛り込まれていることから、いわば本市の「散策マップ」を動画化したような内容となっており、本市にお住まいの方も、本市をまったく知らない方も楽しんでいただけると感じています。</p> <p>今回の撮影ではドローンを駆使し、これまで見るができなかったアングルで各スポットを壮大に見せる工夫もなされています。また、映像にマッチした神秘的BGMに吸い込まれそうな感覚になると思います。</p> <p>このPR動画は、1分30秒の短編と6分15秒の長編の2パターンを作りました。ぜひ多くの方にご覧いただければと思います。</p> <p>本市の魅力をPRするツールのひとつとして、さまざまな活用が図られることを期待しています。</p> <p>今後、YouTubeや市ホームページで公開するほか、市の公共施設はもとより「イオンタウンあいら」など、公開にご協力いただける各施設で放映していきます。</p>
<p>担当課</p>	<p>総務課 総務係 ☎ 0995-66-3012（直通）</p>
<p>備考</p>	

始良市イベント情報

発表事項	始良市加治木くも合戦大会
主 催	加治木町くも合戦保存会
日 時	平成 28 年 6 月 19 日（日）午前 8 時 30 分開会
場 所	始良市加治木町福祉センター（始良市加治木町本町 393 番地）
内 容	<p>くも合戦は、始良市にゆかりの深い島津義弘公が、文禄・慶長の役の陣中で兵士の士気を高めるために、コガネグモを戦わせたのが始まりと言われてい ます。400 年以上続く伝統行事で、平成 8 年には国の無形民俗文化財に選択されて います。現在は、平成 3 年に設立された加治木町くも合戦保存会の主催で、例 年 6 月の第 3 日曜日に、くも合戦大会が開催されています。全国唯一の催しで す。</p> <p>大会では、くもの色艶、姿形の美しさを競う「優良ぐもの部」、棒上でくもを 戦わせ強さを競う「合戦の部」、さらに「合戦の部」で三勝したくもが競う「王 将戦の部」が行われます。勝負は、棒から落とす、かみつくなど 4 つの決まり 手があり、ときに数秒で決着するため、行司や参加者はもちろん観客も手に汗 握って勝敗を見守ります。</p> <p>今回は、ダイドードリンコ 日本祭り 2016 にとり上げられ、大会当日はエ ジプト考古学で著名な吉村作治氏も観戦されます。また、後日、特別番組が放 送される予定です。</p>
担 当 課	加治木地域振興課 電話 0995-62-2111 内線 265
備 考	大会後、地域の保育園、小学校では訪問くも合戦が行われます。 絵画、書道コンクール、訪問授業等、子供達も熱心に取組む行事です。



始良市加治木 くも合戦大会



開催日時：平成28年6月19日（日）8：30～

会場：始良市加治木福祉センター

（JR加治木駅から徒歩5分、加治木ICから車で3分）

《大会スケジュール》

8:00～	優良ぐもの部受付
8:30～	開会式
	優勝旗返還
	絵画・書道コンクール表彰
	会長あいさつ・来賓祝辞
9:10～	優良ぐもの部
	合戦の部
13:30～	王将戦の部
15:00～	閉会式
	結果発表
	お楽しみ抽選会
16:00	終了

大会内容

・優良ぐもの部

クモの色艶や姿形の美しさを競います。

・合戦の部（大人の部・少年の部）

長さ60cmの横棒の上で、向かい合わせて対戦させます。1匹のクモは最大3回戦うことができ、3匹の勝ち数の合計で順位を決めます。

・王将戦の部（大人の部・少年の部）

合戦の部で三勝したクモのトーナメント戦。

【合戦出場お申込み】

申込締切：平成28年6月16日（木）

加治木総合支所加治木地域振興課へ

TEL0995-62-2111 内線265

※出場者は大会当日にクモ3匹ご用意ください。

主催 加治木町くも合戦保存会 共催 始良市観光協会

後援 始良市・始良市教育委員会

協賛 (株)山形屋・(株)ニシムタ・(株)タイヨー・さつま司酒造(株)